

資料作成の作業量が  
これまでの 1/3 以下になりました。



## 医療法人 相生会 金隈病院

所在地 福岡県福岡市博多区金の隈3丁目24番16号

病床数 395床(地域包括ケア:42床、医療療養:353床)医療安全対策加算2

### 介護医療院かねのくま

入所定員 45人(短期入所含む)

### 介護老人保健施設 楽陽園

入所定員 100人(短期入所含む)

福岡県福岡市博多区の金隈病院は、介護医療院・介護老人保健施設を併設し、老年期疾患の医療と介護を専門にされています。また在宅療養後方支援病院として地域の在宅医療を支えています。

2020年12月にインシデント報告のタイムリーな情報共有と集計業務の簡素化を目的として、「e-Riskn」をご導入いただきました。導入の背景や活用方法について、医療安全管理者の春木(はるき)様にお話を伺いました。

## これまでのインシデントレポートの報告・管理に、どのような課題を抱えていましたか？

これまではインシデントレポートもヒヤリハットも、紙で報告をしていました。大きなインシデントは、直接報告をあげてもらっていました。ただ、紙だと現場から管理者に報告が上がるまでに時間がかかります。

まずは管理者として、現場からの報告をタイムリーに見たかった。その報告を、すぐに現場へ情報共有したかったです。

集計作業も大変で、クラークさんと二人掛かりで手集計していました。クラークさん

は、報告書を読みながら分類分けと集計を行い、原本をコピーして私へ持ってきてくれました。コピーした報告書を元に、クラークさんが作成した集計表を私がダブルチェックをして…。

発生場所や時間、患者さんの状態などで細かく分析し対策を立てたいと思っても、紙から集計しないといけないという作業のハードルが高くて、したくてもできない状況でした。

今回 e-Riskn の導入にあたっては「報告をタイムリーに見て現場と共有したい」「集計を簡単に終わらせて分析したい」と期待していました。

## システム選定にあたって、重視したポイントはどこでしたか？

当院は入院患者の多くを高齢者が占めるため、転倒・転落、スキンテアといったインシデントが多い傾向にあります。そういったよく発生する事故や、障害高齢者の日常生活自立度・認知症患者の日常生活自立度といった患者項目を入力できるか、療養病床の運用に合うか、というのは重視したポイントでした。

e-Riskn の画面を最初に見たとき「見やすいな」と感じました。療養病院での運用もカバーできそうで、導入はメリットしかないと思いました。



業務委員会委員長の田中師長(左)と医療安全管理者の春木師長(右)

### e-Riskn の導入効果を、どんなところに感じますか？

今回、インシデントレポートだけではなく、ヒヤリハットの様式も e-Riskn で入力できるようにしました。報告がタイムリーに見れるようになって、インシデントの未然防止につながっています。

インシデントだけではなく、針刺し切創・皮膚粘膜曝露が発生したら、すぐ感染管理担当と共有しています。これまでは各部署で対応していたクレームも、発生したら患者サポートセンターや関連する部署と共有できるようになりました。

クラークさんをお願いしていた集計業務も全て無くなりました。紙の原本を保管していましたが、その必要も無くなりました。

委員会に提出する資料作成のため、紙の束からレベル 3A 以上のレポートを抜粋し手入力で一覧を作っていたのですが、一括印刷機能で簡単にできるようになりました。作業的には今までの 1/3 以下、体感的にはもっと減っているかもしれません。1 時間もあつたら資料作成が終わるようになりました。

### e-Riskn の具体的な活用方法を教えてください。

インシデントレポート・アクシデントレポート・ヒヤリハット・針刺し切創・皮膚粘膜曝露・患者クレーム・死亡死産、全ての様式をフル活用しています。PDCA(業務改善計画書)と研修も使っています。

死亡死産の様式は、療養病床ならではの使い方をしているかもしれません。

患者様が最期を迎える際に医療処置を望まないご家族も多いのですが、予期せぬ死亡があった際に振り返りをすることは重要です。

予兆に気づけたか、発生時の記録がきちんとした形式で残っているか、家族への連絡タイミングは適切だったかという点で、電子カルテの記録と合わせて振り返りをするときに使っています。

### 春木様が、e-Riskn で気に入っているところはどこですか？

#### 研修の出欠管理です！

これまでは、クラークさんが紙の出席簿から出席率や欠席者を集計してくれていました。

今は e-Riskn の研修機能で行っています。動画研修でも、見たか・見ていないかを管理できるようになりました。最初は医療安全の研修だけで使っていたんですが、いつのまにか感染管理や個人情報の研修でも使いたいとなって…操作方法を院内で広めて行きました。

統計もわかりやすくて、時間ごと・発生場所ごとに簡単に表示されるところも気に入っています。

### 今後の e-Riskn への期待をお聞かせください。

コロナ禍で、動画研修が増えました。研修の出欠を取ることに加えて、全体の進捗率が表示されたりアンケート集計、研修後の理解度のテストができるようになったらもっと使いやすくなると思います。

